

学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

学士教育プログラム名称

土木コース 学士教育プログラム

		自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
URGCC学習教育目標		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語（日本語と外国語）とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	A. 多面的理解： 物事を多面的に考えられるための人文・社会科学の素養	○	○	○	○	○		
	B. 技術者倫理： 亜熱帯島嶼地域の自然・社会環境を理解するとともに、土木技術の実社会に対する影響や効果を理解し、技術者としての社会的責任（技術者倫理）を考える素養	○	○	○				
	C. 基礎能力： 実社会で直面する様々な問題に対応するため、土木工学の基礎となる数学・物理および情報処理に関する知識の習得と、それを応用する能力	○					○	
	D. 専門技術： 土木工学の主要専門分野である構造工学、土木材料学、地盤工学、水工水理学、土木計画学の基礎および応用能力の習得と自己継続学習能力	○						○
	E. デザイン能力： 社会の要求を解決するために、土木工学の専門技術や情報処理技術を利用し、個人・チームでデザインする能力	○				○	○	○
	F. 表現力： 日本語によって物事を論理的に記述し、プレゼンテーションを行う能力	○				○	○	○
	G. 外国語能力： 国際的に活躍するために、英語およびその他の外国語の基礎ならびにコミュニケーション能力	○		○		○		
	H. 問題解決能力： 与えられた制約の下で、自ら課題を発見し、課題を解決するための研究を計画的に遂行し、その結果をまとめ、チームで仕事をするための能力	○				○	○	○